



平成
20年度

きらり川口 ジュニア議会

8月25日、次代を担う子どもたちに
市政の仕組みを学んでもらうため、
今年で10回目となる「きらり川口
ジュニア議会」を開催しました。



Q 放置自転車を無くすための取
り組みについて

A 本市では、放置禁止地域で、
放置自転車禁止のバリケード
型看板などの設置や、自転車利用者
に対して放置防止指導員が駐輪場へ
の利用案内や放置防止の呼びかけを
するなどの啓発活動を行うとともに、
定期的に放置自転車の撤去を行って
います。

また、特に放置自転車が多い川口駅
周辺では、現在、川口市駅前地下駐車
場を自転車駐車場に全面転用し、新
たに1千700台分の駐輪スペースを確保
しています。さらに、買い物などに伴う
放置自転車対策として、川口駅近接の
市営自転車駐車場の一時利用の無料
時間を今年の10月から3時間に延長
するなど、放置自転車の減少に努めて
います。

今後も自転車利用者一人ひとりの
モラルの向上を図り、放置自転車を1
台でも多く無くし、公共の場の交通安
全、都市の美観・景観保持を図ります。

Q ひつたくりや空き巣など身近な
犯罪事件の防犯対策について

A 平成16年、行政と市民が一体
となつて犯罪件数の増加傾向
に歯止めをかけようと、県内市町村
としては初の「防犯対策室」を設置、
自主防犯組織の育成や、青色回転灯
付き車両で市内の防犯パトロールを行
うほか、市民の防犯意識を高めるため
の防犯教室などを開催しています。

また、市民が一丸となつて取り組む
防犯活動として、町会の自主防犯組
織をはじめPTAや防犯ボランティア、
さらには企業など260の防犯活動の団
体がこれまで組織され、定期的なパト
ロールを実施しています。このほか、個
人の防犯活動の一つとして、散歩の時
間を利用したライフスタイルパトロール
にも328人のかたが登録され、市内の各
地域で活動しています。

今後も、警察など関係機関との連
携を図り、ひつたくりや空き巣、自転

車盗、振り込め詐欺などの身近な犯
罪対策に取り組み、さらなる街頭犯
罪の減少に努め、安全で安心して暮ら
せる街づくりを推進していきます。

Q 川口ならではの鋳物産業の活
性化策として、大学や研究所
で鋳物の研究をさらに進めることや、
鋳物アイデアコンテストで製品募集
をしてはどうか

A 川口の鋳物産業は、江戸時
代に始まり、日常生活に密着
した鍋、窯、ストーブや産業用鋳物を
生産し、中小企業の街として、県内は
もとより、日本のものづくりで重要な
役割を担っています。東京オリンピック
で使用された東京国立競技場のバッ
クスタンドの聖火台も、川口の伝統産
業である鋳物でつくられたものです。

現在は、駅や市街地などに設置さ
れているフェンスや街路灯、ベンチなど
多くの景観鋳物だけでなく、IHクッ
キングヒーターにも対応した世界で最
も薄く軽量の鋳物鍋の開発に成功し、
百貨店や専門店を通じ全国で販売し
ています。

鋳物の研究を進めることや、コンテ
ストなどで広く製品アイデアを募集す
ることは、大変貴重な意見であり、こ
れからの施策に生かしていきたいと思
います。

今後も「産業の振興なくして、街の
前進はなし」との信念のもと、市場性
の高い製品開発や生産性の高い高付
加価値産業への発展を図るため、さま
ざまな施策を展開していきます。



ジュニア議会は、市内24の中学校から2
人ずつ、市立高校3校から1人ずつ、計51
人が出席、事前に市役所各課を訪問して
市政の現状とさまざまな課題を学び、議
会本番の質問原稿を作成しました。
本会議当日は、川口高校の高野陽子さ
んが議長を務め、通常の市議会と同様に
進められ、26人の議員から市政に対する
質問や提言が行われました。
質問に対する市側の答弁のあと、議員
提出議案「川口に住んで良かったといえる
街づくりの決議」が提出され、満場一致で
可決されました。
最後に24人の議員から感想が述べられ、
きらり川口ジュニア議会を閉会しました。

きらり川口ジュニア議会 議員名簿

(敬称略)



荒嶽苑子
南中学校



永瀬範一
南中学校



石井空良
西中学校



林 元樹
西中学校



高橋佳希
東中学校



杉山雅樹
東中学校



安部祐稀
上青木中学校



半田もも
元郷中学校



島田祐希
元郷中学校



石原太助
芝中学校



本橋穂乃香
芝中学校



竹田優美
青木中学校



熊谷直将
青木中学校



吉田敬一
北中学校



上村弥佳
北中学校



江袋奈々
安行中学校



桐田 茜
安行中学校



河野陽彦
仲町中学校



鈴木颯磨
仲町中学校



阿部紗弓
十二月田中学校



塩尻康貴
十二月田中学校



竹内 萌
幸並中学校



山本直人
幸並中学校



池田亮平
上青木中学校



野坂南実
小谷場中学校



久慈宏資
榛松中学校



蓮沼美由紀
榛松中学校



高橋幸一
岸川中学校



入月 涼
岸川中学校



山越紗綾
芝西中学校



中根正和
芝西中学校



名取竜馬
芝東中学校



金子恵実
芝東中学校



井口友夏莉
戸塚中学校



和田侑子
戸塚中学校



鈴木里実
領家中学校



宮中陽平
領家中学校



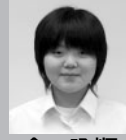
高木一樹
神根中学校



風見紗緒里
神根中学校



小野さくら
芝園中学校



金 瑜順
芝園中学校



馬場彩香
小谷場中学校



高野陽子
川口高校



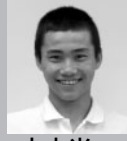
山本麻由
県陽高校



村山美沙
川口総合高校



今西厚真
戸塚西中学校



山中光一
戸塚西中学校



渡邊 陸
安行東中学校



佐川拓己
安行東中学校



井堀拓郎
在家中学校



小野寛文
在家中学校

川口に住んで良かったといえる 街づくりの決議

近年、地域の交流が少ないという話題を耳にします。地域の交流については、犯罪を未然に防ぐ一つの方法として、その大切さが各所で訴えられています。川口市が、人口50万人を超える大都市に発展した今、地域の交流はますます重視されていくことでしょう。

私たちの住んでいる地域では、毎年町内会主催のお祭りが行われ、多くの住民が参加しており、交流が深められています。毎年、多くの方がお祭りを楽しみにしています。また、地域のゴミ拾いに参加すると、普段話す機会がない方とお話することができ、地域の課題を学ぶことができます。このような経験を通して、自分の住んでいる街について、考えてみる機会が増えることが望まれます。

本市は、地域の絆を強める、様々な行事を企画しています。例えば、毎年多くの人が訪れるたたら祭り。特に福祉コーナーでは、レクリエーションを通して多様な人々と出会うことができます。その他にも、クリーン作戦やフリーマーケットなど、地域で楽しみながら触れあえるコーナーがたくさんあります。地域だけでなく、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭、川口国際文化交流フェスティバルなど、国際交流を主とした行事も増えつつあります。

このように、川口市では様々な交流の場を設けていますが、それを生かすのは私たち個人です。川口市民一人一人が、普段からたくさんの人と交流することで事件を少しでも減らすことができ、みんなが安全に、安心して暮らせる街づくりにつながっていくと思います。

そこで、住んで良かったといえる街・川口をつくることを決議します。

平成20年8月25日

きらり川口ジュニア議会

議員提出議案

Q 災害時の水や食糧の備蓄状況と、配送するシステムについて

A 地震などの災害に備え、非常用食糧として、乾パン、ビスケット、アルファ米を約37万6千食備蓄しています。また、飲用水は、市内7カ所の浄配水場に約17万トン、市民一人あたり340リットルを常に備蓄し、30カ所の飲用水専用井戸も整えています。

実際に災害が発生した場合は、市に災害対策本部を設置し、食糧は食糧部、飲用水は給水部が対応する体制になっています。その際、非常用食糧は、市内の運送事業者などが運送に協力し、また応援協定による大型スーパーなどからの食糧提供など市内関係機関が協力しながら対応します。

水の供給は、市内7浄配水場から、指定給水所である各小中高校などの避難所に、給水車両で運ぶほか、ろ過浄水器も提供します。このほか、水戸市・前橋市・宇都宮市との災害応援協定や、全国組織である日本水道協会との相互応援の仕組みを整えるなど、災害の規模に応じた体制も整備しているところです。

